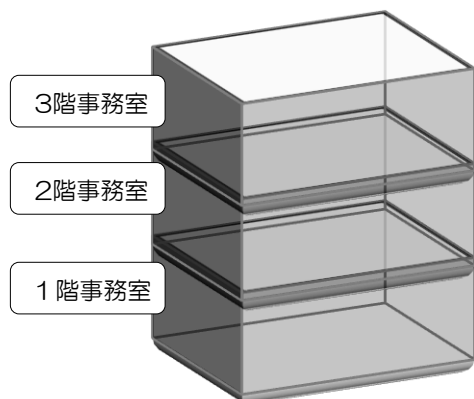


仕上拾いの「階S」及び「階E」の使い方

仕上拾いにある「階S」及び「階E」は、「階倍」という機能で使えます。

部屋形状		編集							
仕上拾い									
仕上区分	階S	階E	タイプ	部屋No.	部屋名称	個所			
	1	3		2	事務室	1			
X寸法 (A) m	Y寸法 (B) m	天井 (E) m	巾木 (F) mm	床面積 (S) ㎡	周長 (L) m	壁面積巾木減 (M) ㎡			
6.85	6.10	2.60	100	41.79	25.90	64.75			

上記例の場合、1階から3階まで、全く同じ内容の「事務室」を拾っていることになります。

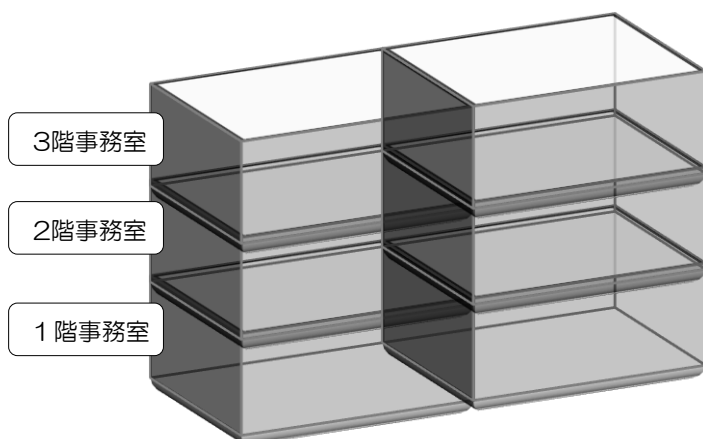


※ 1部屋分の拾いを入力することで、2階分と3階分を合わせた3部屋分が集計されます。

「個所」は1フロア内での個所数を入力します。

部屋形状		編集							
仕上拾い									
仕上区分	階S	階E	タイプ	部屋No.	部屋名称	個所			
	1	3		2	事務室	2			
X寸法 (A) m	Y寸法 (B) m	天井 (E) m	巾木 (F) mm	床面積 (S) ㎡	周長 (L) m	壁面積巾木減 (M) ㎡			
6.85	6.10	2.60	100	41.79	25.90	64.75			

上記例の場合、1階から3階まで、各階2個所の全く同じ内容の「事務室」を拾っていることになります。



※ 1部屋分の拾いを入力することで、2階分と3階分を合わせた6部屋分が集計されます。